

地域活動

吉浦女性会

1月20日、延び延びになっていた配膳事業を実施することができました。各地区の理事が高齢者2名にお弁当を作り届けました、理事さんが不在の地区も民生委員さんをお願いして配っております。



辰川女性会

12月20日、荘山田小学校体育館・教室・廊下にて、地域住民・こども園の園児・荘山田小学校児童・片山中学校生徒とともに合同防災訓練に参加しました。

参加者は、各種訓練を行い、女性会はおおよそ900人分の非常食の炊き出しをし、参加者にふるまいました。4年ぶりでしたが、楽しく和気あいあいと活動できました。

これからも「楽しく」をモットーに、地域との絆をさらに強め、地域を盛り上げていけるように励んでまいりたいと思っています。



昭和西女性会

長年続けてきた、郷土料理「八寸」の伝承活動を、4年ぶりに地域の3つの小学校で実施することができました。昭和地区に古くから受け継がれてきた自慢の郷土料理「八寸」の歴史、「八寸」に込められた「助け合い、分かち合いの心」を子ども達に伝えるとともに、一緒に「八寸」を作り、みんなでおいしくいただきました。

子ども達に、郷土を誇りに思い、人々とのつながりを大切に作る気持ちを育てることを願って、今後も伝承活動を続けていきたいと思ひます。



宮原女性会

毎月2回、宮原まちづくりセンターで「いきいき体操」を行っています。主に椅子を使ってのストレッチで、ダンベルや手作りの筒を使用して、音楽に合わせて体操をします。65歳以上の地域の方が対象で毎回40人前後の参加があり、90歳代の方も数名参加しています。

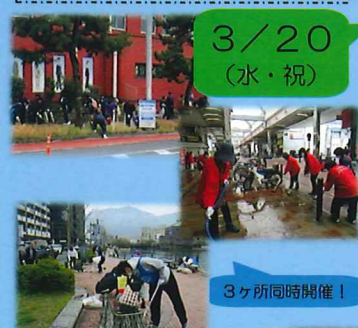
笑顔と体力づくりで和気あいあいと活動しています。



呉市女性連合会・呉市赤十字奉仕団

お知らせ

美しい呉クリーンキャンペーンとは…
誰もが訪れたい住んでみたい住人の心もまちも美しい呉を次の世代に引き継ぐためを目的に、呉市公衆衛生推進協議会と呉市女性連合会が協力し発足した美しい呉プロジェクト実行委員会を中心に呉市を美しくするものです。
観光地を中心に清掃し訪れる市民や観光客の皆様に呉市を愛でていただくために、毎年1回の清掃活動「美しい呉クリーンキャンペーン」を開催しています。
今年で4回目となり年々町・人・心がきれいになっています。



3/20
(水・祝)

美しい呉
クリーンキャンペーン
3ヶ所同時開催!

場所：大和ミュージアム
呉市呉の歴史博物館
れんが通り
日時：2024年3月20日(水・祝)
午前10時～(小雨決行)
内容：呉市の中心をみんなで清掃
備考：参加していただく場合は、参加加入の必要書類の入力と連絡をお願いします。

主催 呉市公衆衛生推進協議会 呉市女性連合会
お問い合わせ 0823-25-3581 (呉市民防地区協議会)

条例表彰

呉市女性連合会(理事) 飯草 敏子 様



女性会・赤十字奉仕団などの活動を通じ社会福祉の発展に寄与された功績をたたえ、呉市より表彰されました。



編集後記

今年度は、昨年度以上にたくさんの行事を無事に行うことができ、一安心しております。来年度も迷惑をおかけしないように事務局一同励んで参りますので、よろしくごお願い致します。(増原)

今年度は様々な行事等もあり、充実した一年でした。これからも女性会の活動を盛り上げて頂けるよう頑張ります。(前田)

令和6年3月発行 発行責任者 佐藤 光子

輝く女性

清水ヶ丘高等学校 校長
齋藤 美由紀



母の教育は百人の教師にも勝る

私は、第三の校内暴力等が学校現場に勃発し、いじめ、自殺、対教師・生徒間暴力、暴走族対策、社会的逸脱行為等、全国的に青少年が自暴自棄となり、大変厳しい事案と向き合う昭和50年代後半、広島県教育委員会事務局海田教育事務所(現:西部教育事務所)に中学校教諭として新規採用されました。また、同時に文部科学省が広島県の教育に対して教職員のコンプライアンス、是正指導の徹底を図り、教育現場・課題等を抜本的に見直し、教師の資質・使命感が問われる大きな改革が求められる時代でもありました。

初任校である公立中学校は、県内約260校ある中学校の中で、「生徒指導対策指定校」に値し、県内でも3本の指に入る社会性、秩序を逸脱した中学校でした。幸いにも自宅から通勤できる距離であったことから、音楽大学を卒業したばかりの私を、社会人また、教師として大きく導いてくれた存在は、諸先輩の教職員はもちろんですが、今日の私の姿勢・生き方において、判断、決断を求める場で支えとなる「思考軸」は、母の教え(言葉)が大半を占めています。今思えば、幼少期から私の人生、職業観を決定付ける母の存在があったとも言えます。

幼稚園、小学校へ進む就学前から、母の教えは今も記憶にしっかりと残っています。母はどんなときも正座をして私と正対して話をします。「人の悪口を言うくらいなら、感謝の気持ちを口にするようにしなさい。」「どうしても自分で判断できないときは、まわりに助けてもらいなさい。助けてもらったことはずっと忘れないこと。感謝とは、人に伝えることではなく、まず、最初はしてもらったことを忘れないことが大切です。」中学生、高校生になっても、繰り返し、繰り返しこの言葉は言い続ける母でした。

そして、大学3年生の9月のある日、母から一通の手紙を渡されました。「あなたは教師になりなさい。」「あなたは、他人から尊敬される人になりなさい。人は世の中でその人だけが出来ることがあります。人というのは、人のために何かをするために生まれてきているから。」「よく出来る子には、志気を高める言葉をたくさんかけてやりなさい。しかし、自信をなくしたり、自己嫌悪に陥っている子がいたら、あなた自らが生きる手本となりなさい。世の中に自分のことを思ってくれる人がたとえ一人でもいたら、その子は生きようとするから。あなたの生き様を見せて、すべての子どもの心を動かす教師になりなさい。」そして、最後の文に「今、目の前にいる子どもを幸せにするのではなく、どんな状況でも幸せになれる子どもを全力で育てなさい。それが教師です。」と締めくくってありました。

亡き母が私に長い年月をかけて、厳しく妥協せず育ててくれたように、中学校教諭、県教育委員会(生徒指導・教育相談、特別支援教育、健康教育担当部長)、中学校校長、そして清水ヶ丘学園校長として、多用で貴重な教育実践に携われてきたことは感慨深く、次の世代に託す役割を今後も責務として努めてまいりたいと考えております。

呉市赤十字奉仕団70周年感謝状

1952年に発足した呉市赤十字奉仕団は一昨年70周年を迎えました。地域活動や赤十字事業に多大な貢献をしたとして、9月12日、日本赤十字社から感謝状が贈呈されました。

佐藤委員長をはじめ分団員たちは、今後も奉仕精神を生かし、活動を続けていきたいとの思いを新たにしました。



令和6年 新年互礼会

令和6年1月6日(土)、大変な年明けを迎えたなか、新年互礼会が阪急ホテルで行われました。新原市長、中田市議会議長をはじめとする来賓の方々をお迎えし総勢180名の参加となりました。

乾杯の後の余興では、日本舞踊(郷原地区)で始まり、フラダンス(昭和東地区)、大正琴(郷原地区)、手話(片山地区)と続き、全員で体操をした後にはお楽しみ抽選会。牡蠣、米などたくさんの持ち寄せた景品で大いに盛り上がりました。

最後にコーラス(昭和西地区)でしめ、和やかな雰囲気の中、楽しい時間を過ごすことができました。



ふれあいバザー&研修旅行

令和5年10月15日(日)、晴天に恵まれ「ふれあいバザー」を開催しました。食品売り場には行列ができており、販売スタッフは気温も上がり汗だくで大勢の人に対応していました。バザーの収益金は、572,122円でした。

大盛況のうちに終わることができました。参加していただきました皆様、ありがとうございました。



バザーを終えた1週間後の10月23日(月)、日帰りの研修旅行に出かけました。各地区から総勢141名が参加しました。

まず広島市環境局中環境事業所に。映画「ドライブ・マイ・カー」で脚光を浴びたゴミ焼却場です。最新の技術でゴミが処理されていく過程を見学し、毎日の生活で出るゴミの「減量」や「分別」の大切さを学びました。昼食はリーガロイヤルホテルでビュッフェ形式。肉もデザートもバラエティに富み、皆大満足の様子でした。

その後、コスモス一杯の広島市植物公園や西条の道の駅を訪れ帰路につきました。盛りだくさんで有意義な研修旅行になりました。



年末愛の運動

愛の募金活動・米のまごころ運動

今年は例年に増して多くの方々の善意をいただきました。皆様から寄せられたお米や浄財は、市内の社会福祉施設や呉市内・国内外で発生した災害の見舞金として配布させていただきます。

呉市民の皆様のご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

募金総額	11,240,689円
いただいたお米の総量	896.5kg



街頭募金活動

12月2日(土)、中通り商店街・呉駅・新広駅周辺で高校生(清水ヶ丘、三津田、呉港、市立呉)40名と共に街頭募金活動を行いました。

生徒たちが「募金活動にご協力お願いします」と大きな声で呼びかけると、道行く方々が足を止め、募金に協力してくださいました。呉市民の皆様のおかげで、とても有意義な一日となりました。ありがとうございました。



清掃奉仕活動

12月12日(火)、恒例の清掃活動が、青山高等学校、かしの木の皆さんと共に行われました。さくら公園・境川周辺・中通商店街を分担し、皆さんで頑張りました。

風が吹く度に、はらはらと舞い落ちてくる銀杏の葉と格闘しながら、力を合わせ時間の許す限り頑張ることができました。拾い集めた落ち葉の袋の数の多さにとても満足し、清々しい気持ちで活動を終わりました。

能登半島地震へ義援金

新年早々に能登半島を中心に起きた、能登半島地震を受け、令和6年1月9日に、呉市女性連合会・赤十字奉仕団は、被災された方々へ少しでも早くとの思いから、年末の募金活動で集めた浄財から、義援金として300万円を日本赤十字社広島県支部へ届けました。

被災された皆様へ、心よりお見舞い申し上げます

